

15 駒岡 地区

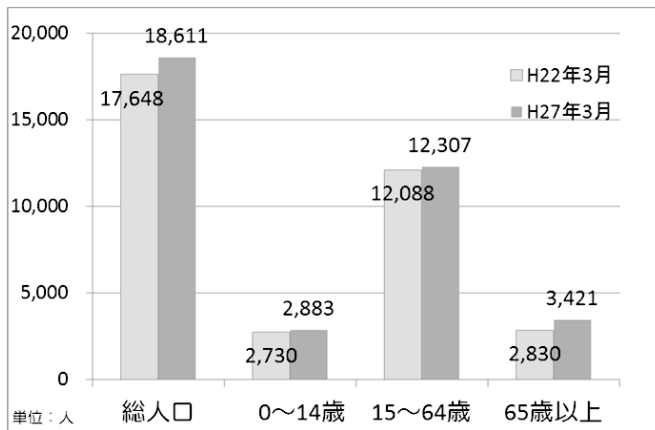
1. 地区概況

港北区に隣接した自然環境が豊かな地区で、駅までの交通手段はバスが主流です。最寄り駅は綱島駅、日吉駅ですが、バスで川崎駅、鶴見駅、新川崎駅、新横浜駅に行くこともできます。買物などは、近くの大型スーパーや商業施設等を利用している方が多いようです。近年は、工場や農地の跡地に、新しいマンションや戸建住宅が建てられています。



2. 地区データ

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	17,648人 (100.0%)	18,611人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	2,730人 (15.5%)	2,883人 (15.5%)	(13.3%)
15～64歳	12,088人 (68.5%)	12,307人 (66.1%)	(67.0%)
65歳以上	2,830人 (16.0%)	3,421人 (18.4%)	(19.7%)



- 5年前に比べると、総人口が963人増えています。
- 65歳以上の人口が591人増え高齢化が少し進んでいます。

3. 第2期計画

地域の“こども”と“大人”でまちづくり

- ◎ 駒岡に転入してきた人達へ充実した情報発信
- ◎ 地域のみんなで支える子育て
- ◎ 現在活動している地域活動の継続・発展
- ◎ 親子と高齢者をはじめとした異世代交流の場づくり
- ◎ 障害理解の地域への情報発信、鶴見養護学校や地域作業所との連携
- ◎ 町内会活動・地域活動への担い手の発掘

4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

22年度



7/29・10/20・11/1に実施したまち歩き
の報告及び駒岡のまちの現状と「こうなっ
て欲しい」ことを、地域の方とのグルー
プワークし、意見交換しました。

今後は、今回の町歩きを生かし、子育
てをしている世代など幅広い世代の方
や駒岡に転入してきた方と一緒に、駒
岡の魅力を共有する場をつくり、『地
域に住むこどもと大人でのまちづく
り』を考えていくきっかけづくりを
していきます。



23年度

駒岡にもっと愛着をもってほしいとい
うねらいで、4町会の町会長と話し合
いを重ねて活動しました。

11/12まちあるき（47名参加）
コースを乳幼児向けと小学生向けに分
けて、コスモ畑や大曲広場、兜塚ふれ
あい樹林、瓢箪山遺跡を歩きました。後
半はスライドを使い、45年前の写真と
現在の写真を紹介し、グループに分か
れて、振り返りを行いました。



24年度

6・7・8月に4町会長を中心に話し
合い、地域と一緒に活動を進めました。
まちあるきをきっかけに駒岡を知り、
つながりをもつことを目的としました。

まちあるきは3コースを設定し下見を
行い、暑さ対策やベビーカー対応等の
経路、募集方法や見どころの説明・当
日配布資料など具体的な内容を確認し
て、10月に実施しました。今回は駒
岡上町方面（ニッ池・稲荷社・駒岡不
動尊・常倫寺）のコースを追加しまし
た。



25年度



乳幼児の親子（30組程度）を対象に、
現在活動中の「かぶと塚ふれあいの樹
林 お芋ほり」とコラボレーションした
まちあるきを実施しました。

5月に兜塚ふれあい樹林・さつまいも
の苗植え体験（22名参加）をした後、
どろんこ広場→兜塚→駒岡八幡神社→
お穴様→ケアプラザのコースでまちあ
るきしました。



11/16 兜塚ふれあい樹林・さつ
まいも堀り（29名参加）その後、参
加した保護者に感想聞く場を設けま
した。

26年度



駒岡地域の行事に参加することを目的
に、4/9・11/5に、4町会長、駒岡
地区主任児童委員、駒岡地区社協事
務局長と話し合いを行い、地域のつ
ながりを親子にどう伝えていくかを
丁寧に検討しました。

5月 さつまいも苗植え
7月 鶴見川大曲ひろばで水遊び
8月 神明社宵宮祭り
駒岡八幡神社祭り、駒岡地区連合
盆踊りに親子で参加された方達も
いました。
10月 さつまいも堀り
今年1年のあいねっと活動を振りか
える会も開催しました。



27年度



第3期計画に向けて、1/14を皮切
りに、様々な分野の関係者の方々に
地域の状況や課題をうかがってい
きました。

4月～6月
4町会長と駒岡地区社協事務局
長と地区懇談会の参加者・内容等
の検討を行いました。

6/6
駒岡地区懇談会を開催（参加：50
名）地域の方達と意見交換をしま
した。

7/31
4町会長、駒岡地区社協事務局
長、4婦人部部長と地区懇談会
で出た意見をもとに地区計画の素
案を作成しました。



5. 第3期計画策定に向けて

平成27年6月6日（土）10時～12時 駒岡地区センター 中小会議室

駒岡地区懇談会を開催しました。50人という多くの地域の方々のご参加いただきました。

内容としては、全体で「第2期計画の振り返り・第3期計画の概要」また、「駒岡地区の概況」について区役所から説明があった後、高齢者・障がい者・子どもの3つの分野に分かれ、各々参加者が今感じていることや今後に向けての話し合いを行いました。



出た意見をグループごとに、付箋に書き出し、内容別に分類してみました。



<高齢者グループ>

- *行事のお知らせが声かけのきっかけになっている。
- *参加すれば友達ができるが閉じこもりがちな人をどうしようか。
- *他の人に関心を持って、挨拶し続けることが大事。

<障がい者グループ>

- *声をかけたいと思ってもどう声をかけたらいいかわからない。
- *お互い知りあうと言っても、お堅い勉強会より一緒に活動を通した方が自然でよい。

<子どもグループ>

- *情報はネットから取る人が多い（特に乳幼児。学校に入ると地域の情報も入りやすい。）
- *あまり子どもの姿を見ないが、どこにいるんだろう？
- *スポーツイベント等を通して、他世代と交流できれば。

どのグループもかなり話が盛り上がり、約1時間もあっという間に過ぎてしまいました。もう少し時間があつたら…というのが正直な感想です。ただ、その少ない時間の中でも、これからの駒岡地区の発展に向けて、様々な意見や方向性が出てきました。

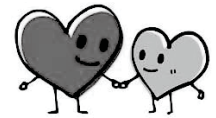
平成27年7月31日（金） 13:30～15:00

6月6日の地区懇談会で出た意見をもとに、町内会長・地区社協役員・婦人部というメンバーで、計画づくりに向けてまとめの話し合いを行いました。



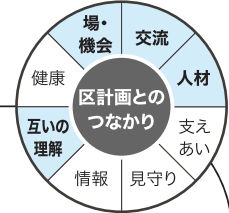
高齢者・障がい者・子どもの3分野で行った話し合いを見直しましたが、その中でも共通の話題（情報の伝達や人材育成、お互い分かり合うための場づくり等）もいくつか見つかりましたし、分野で独自の意見や課題もありました。また、そのメンバーで次期計画のテーマについても話し合いました。

6. 第3期計画策定（28年度～32年度）



地域みんなでつながるまちづくり

目標1 地域の行事に新しい風を取り込もう



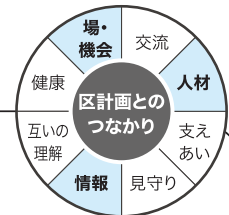
■現状の良いところ・課題

- ・神社やふれあい樹林、大曲広場、兜塚と駒岡にある歴史や自然を生かしたイベントを続けています。
- ・清掃や草むしり活動を通して、地域同士のつながりができています。
- ・こども会が参加する盆踊りで、若い世代を取りこむ仕組みができています。
- ・あいさつしあう関係をこどもから高齢者まで継続して行い、あいさつをつながりのきっかけづくりの第一歩として続けます。
- ・未就学児を持つ世代と中高生の保護者が町内会の活動につながりにくいです。
- ・新しい人材の確保の工夫をする必要があります。
- ・新しい住民（大人とこども）と地元の人との交流が少なめです。

■5年間の具体的な取組

- ◎地域の歴史や自然を生かしたイベント等で、新しい住民と交流するきっかけを作ります。
- ◎こどもから高齢者まで、あいさつ・声かけを広げます。高齢者による登下校の見守り等に、若い世代も感謝の気持ちを相手に伝える方法を作っていきます。
- ◎盆踊りに合わせて浴衣着付け教室を企画する等、新しい人材をつなげる工夫をします。

目標2 今よりもっと地域の情報が手に入りやすいまちにしよう



■現状の良いところ・課題

- ・こども会が積極的に地域の行事に参加しています。
- ・若い層はインターネットでの情報収集が多く、特に未就学児を持つ家庭には町内会等の情報は届きにくい現状があります。
- ・新しい住民の方は、声かけなどのきっかけがないと地域行事への参加につながりにくい傾向があります。

■5年間の具体的な取組

- ◎掲示板での情報提供をいっそう工夫します。
- ◎新しい住民の方に、ラジオ体操や盆踊り等地域のイベントに参加してもらうきっかけづくりをします。
- ◎新しい情報発信（インターネット等）ができる人材を探します。